



知ろう学ぼう人権

私たちが闘うのは

「人」ではなく「ウイルス」です

感染症流行時に様々な人権問題が起こることを知っていますか。その多くは感染症に対する知識や理解の不足から発生しています。この問題については、正しい知識を持ち、関心と理解を深めていく必要があります。

●感染症から見る人権問題

感染症流行時には、病気に対する恐怖から感染者やその家族、医療従事者等が偏見や差別的な目に向けられることがあります。

また、ワクチンの接種が始まると、ワクチン接種を受けない人たちにに対して「ワクチンハラスメント」という問題が起こることもあります。ワクチン接種は本人の意思に基づくものであり、他の人に強制されることはありません。しかし、未知のウイルスに対する不安や恐怖からワクチン接種の有無によって、職場や学校などでの

不当な扱いを受ける問題が起きています。

●ワクチンハラスメントの例

- ・ワクチンを接種しないといけない」と同調・強要する。
- ・未接種者であることを周囲に広める。
- ・接種しない理由をしつこく聞く。
- ・接種しないことを理由に会社を解雇・出勤停止を命令する。

●心ない言葉をかける前に

ワクチン接種は感染症予防効果と副作用のリスクの双方を理解した上で受けないと判断する人や、受けたくても体質や病気など様々な理由で受けることができない人がいます。

またマスクの着用の有無などに関しても同じことが言えます。そのため心ない言葉をかけたりするのではなく「考えや事情があるのかも」と想像力を働かせて行動することが大切です。

問合先 協働人権課人権推進担当

(1階④番窓口)

☎9339・1059



(特集)

2025大阪・関西万博の魅力に迫る！

大阪・関西万博がまもなく開幕します！150以上の国・地域が集う一大イベント！このコーナーでは2025年日本国際博覧会協会の西本敬一さんから万博の魅力を語っていただきます。

会場写真



第9回 複数回パスで早期来場を！

万博会場に近い地元関西の方々に勧めたいのが、複数回パスです。複数回パスには、通期パス(最終盤を除く174日間)、夏パス(7月19日から8月31日までの44日間)の2種類があります。いずれも11時以降であれば何度でも入場できますので、とてもお得です。更に、小人(満4歳以上11歳以下)の通期パスは7000円で174日間入り放題、夏パスは3000円で44日間入り放題、特にお得です。

2005年の愛知万博では、全期券購入者が平均11回も入場されたそうです。最大の理由は、万博は1日ではとても回り切れないから。万博の経験者は、十分見るには最低1週間は必要と言います。何度も足を運べる地元のメリットを最大限活かし、会場に比較的余裕がある早期のご来場、4月から6月の平日が圧倒的にお勧めです。

チケットの購入はこちら▶



西本敬一

平成12年ハノーバー万博日本館で総合プロデュース業務に従事。大規模万博(ハノーバー、愛知、上海、ミラノ、ドバイ)を視察調査。ドバイ万博では現地調査を通じて全192パビリオンを分析。令和4年8月～日本貿易振興機構(JETRO)から2025年日本国際博覧会協会に出向。

問合先 日本国際博覧会協会総合コンタクトセンター ☎0570・200・066